

ポート開放について（概念の説明）

配信または鏡をする場合はポート開放が必要になります。

ポートとは、主にインターネットに接続されているPCと通信を行うための玄関口のようなもののことです。

通常ではポートは安全を確立するためにふさがれています。

ふさがれたままだと情報のやりとりが出来ないため配信したり鏡したりすることが出来ません。

そこで必要になってくるのがポートの開放です。

一般的にポートの概念の説明では**ポートは港**に例えられることが多いです。インターネット上を流れるデータは**パケット**と呼ばれますが、この**パケットが船**です。**インターネットは大海原**。

『行き』は船の積荷は空っぽですが、目的の港の管理者に許可を貰って港に停泊させてもらえれば、いっぱい荷物を積ませてもらえます。

その荷物を持って帰って、紐解くとお宝の山に化けるわけです。

港の管理者は、自分でその専用の港口に停泊できる船種を決めることができます。80番港にはWebページのパケット（一般船）を。8888番港には動画コンテンツのパケット（軍艦船）をといた具合に。その船に合った港ではないと、港の管理者は船の停泊を認めてくれません。

なのでWebページのパケット情報を港の管理者から船に積ませてもらうためには80番の港に停泊しなければなりません。

他の番号の港に停泊しようとしたら事前に追い返されます。でも普通、Webページを見ようとするときに80なんて数字見ませんよね？どうしてでしょう。

<http://www.google.co.jp>

<http://www.google.co.jp:80>

両方アクセスしてみてください。

実は80番というポートは世界中で「80番はWebページ用（HTTP）のポートにしましょう」という取り決めがなされています。

なので、Webブラウザ（IEやらSleipnirやらFirefoxやら）はポート番号が省略されているURLがクリックされたら勝手に80番ポートと決め付けてアクセスしに行ってます。

そんなもんです実際。

<http://www.google.co.jp:800>

これでアクセスしてみてください。

門前払いを食らいます。

ポートを開くという行為は
自分が港の管理者になって、どんな船を受け入れるか決めてるだけです。

たまに船に爆弾積んでテロリストが入港してくることがあるんで
危ないので初期状態では全ての港は閉じられています。

港の管理者権限は最初からみんな持ってます。

受け入れる船の種類はサーバソフトで決まります。
ポートとサーバは切っても切れない関係にあるのです。
kagamiもサーバソフトの親戚です。

ポートの開放方法（本題）

以下の3つを設定する必要があります。
ルータを使っていない場合は、ルータのポート開放は不要です。

ただし、プロバイダから支給されるモデムの中にはルータ機能を内蔵しているものもあります。

『俺はモデム直結だから問題ないぜ！』
なーんて安心してると落とし穴にハマりますよ。

設定が必要な3つのセキュリティ機能

Windows XP (Vista) のWindowsファイアウォール
セキュリティソフトのパーソナルファイアウォール
ルータ

基本的に『機能を停止する』か『例外設定をする』かのどちらかです。

Windows XP (Vista) のWindowsファイアウォール

セキュリティソフトによってはWindowsファイアウォールとの競合による
機能不全を防ぐため、事前に無効化してくれているものもあります。

ウィルスバスター2007はそんな感じで勝手に無効化されてました。

1. デスクトップから
「スタート」 「コントロールパネル」 「セキュリティセンター」
「Windowsファイアウォール」
の順にクリックする。
2. 「全般タブ」の「有効（推奨）」にチェックが入っていることを
確認し、「例外を許可しない」のチェックを外す。

3. 「例外」タブをクリックし
ポートを使用するプログラム(WindowsMediaエンコーダ、kagami等)
にチェックが入っていることを確認する。

プログラムが一覧にない場合は、「プログラムの追加」から選択する。

4. 「OK」をクリックして完了。

セキュリティソフトのパーソナルファイアウォール

セキュリティソフトは個々によって使用しているソフトが違うため細かく説明することが出来ません。

詳しくは【[こちら](#)】を参考にしてください。

ノートンセキュリティソフトをお使いの方は
【[こちら](#)】を参考にしてください。

先にちょっと触れた、ポートの概念を少し理解していれば割とすんなり例外設定できたりすると思いますよ。

ルータのポート開放

- UPnPPCJ

UPnPPCJは簡単にルータのポート開放ができるツールです。

1. まずUPnPPCJを[DL](#)する。
2. UPnPPCJを起動する。
3. 下記のように設定する。

WAN_PORT

開放したいポート番号を入力する。

PROT(TCP or UDP)

TCPを選択する。

LAN_PORT

空白でおk(自動設定)

LAN_IP

自動設定

COMMENT

自動設定

WAN_IP

グローバルIPを取得するボタン。一回クリックして取得する。

ショートカット作成

チェックを入れるとデスクトップにショートカットが作成されます。

4. WAN_PORTに開放したいポート番号(ツインテの場合11220)を入れて ポート開放[a]を押す。

基本的にWAN_PORT以外は触る必要はないので簡単です。

上記のソフトでルータのポート開放が出来ない方は

【[こちら](#)】を参考にしてポート開放してください。

【[こちら](#)】ではIPアドレスも含めてポート開放について解説されてます。

ルータの説明書片手に頑張って設定してみましよう。

だけど恐れないで……

ポートの扉を開く鍵はあなた自身なのよ……

ポート開放がすべて完了したら

【[こちら](#)】で確認することができます。